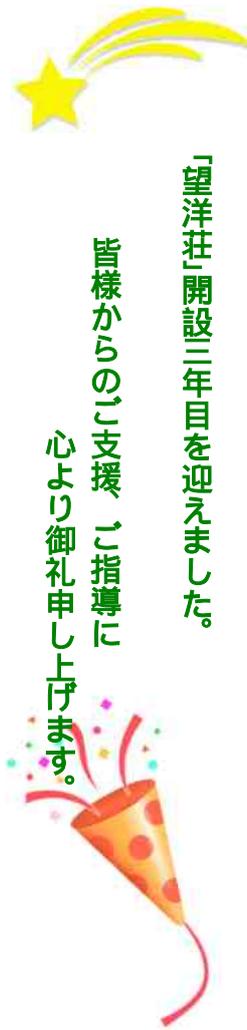




第 25号
平成 17年
12月発行

「望洋荘開設三年目を迎えました。」

皆様からの「支援」「指導」に
心より御礼申し上げます。



「望洋荘」開設三年目を迎えるにあたって

社会福祉法人りんさく福祉会
理事長 須田 滉

生活を支える介護 人間らしく生きる」の時代に対応すべく介護老人福祉施設を、平成十五年十二月一日に開設してから、早くも三年目を迎えることが出来ました。この間における多くの皆様の協力に心より感謝を申し上げます。

望洋荘では、入所者様の綴ってこられた人生の歴史を何よりも大切に考えております。そして、お一人おひとりが、その人らしい毎日をより一層お過ごしただけです。心をとめてサポートさせていただいたつもりです。この施設開設からの二年の間に、多くの見事な歳月を重ねてこられた入所者と職員の間には、幼い頃の記憶、大切な方とのこと、趣味との出会い、そしてさまざまな思い出が彩られたかけがいのない人生の語り合い、又、伝承があった事と思えます。

この望洋荘便り「も施設内外のコミュニケーションの一翼を担えれば」との思いで発行してまいりました。この一年間の私の巻頭言のタイトルを次に列挙いたしますが、その中からも私共職員の理念を些かなりとも感じていただければ誠に幸いです。

- 第十三号 「望洋荘開設一周年にあたって」
- 第十四号 「良寛禅師に学ぶ」
- 第十五号 「老いゆえの美しき」

- 第十六号 「南禅寺。忘れられた恩の話より」を読んで
- 第十七号 「医療、介護（福祉活動）の安全確保について」
- 第十八号 「望洋荘での百歳ハンザイ」
- 第十九号 「介護保険制度の改正にむかって」
- 第二十号 「夫婦漫才「めおとまんざい」」
- 第二十一号 「笑い力」
- 第二十二号 「笑い声は泣き声より遠くまでよく」
- 第二十三号 「メタボリックシンドローム」
- 第二十四号 「バリカンの思い出」
- 第二十五号 「機能低下を素直に受容するには」

科学技術も含め、医学も同様に予防治療方法等が大きく進歩し、生活水準も飛躍的に向上してまいりました。高齢化も急速に進み、多くの人たちが長寿を楽しむ様になりました。そのお手伝いをすべくこの二年間職員と共に努力を続けてまいりました。

この二年間の入所者の方々の動向は下表の如くであります。なかには体調を崩されて病院に入院し、または当施設で天寿をまっとうされた方もありました。自宅へ戻られた方もあります。

そんな中で、一番嬉しかった事は今年の五月に百歳を迎えられ、家族、入所者、職員の皆様にお集まり「百歳ハンザイ」の祝賀会を主催できたことでした。来年はお二方が百歳を迎えられます。今から楽しみです。

職員に対しての研修、教育等々、まだまだ不十分ではあると思えますが、今後とも多くの方々のボランティア活動、地域の皆様の御支援、家族の御協力を得ながら、新しい年を迎えたいと思えます。何卒、よろしくお願ひします。

入所時年齢	70歳以下	70~75	76~79	80~85	86~89	90~95	96~100	合計
入居者数	2	9	15	35	23	15	5	104

(最高齢者98歳・最年少者63歳 平均83.4歳)

現在入所者の年齢	70歳以下	70~75	76~79	80~85	86~89	90~95	96~100	合計
入居者数	2	5	9	25	14	19	5	79

(最高齢者100歳・最年少者65歳 平均85.0歳)

現在までの入居者数	総数	退所者	(死亡)	(入院・移転)	入所中
入居者数	104	25	(20)	(5)	79

性別	男	女	合計
入居者数	20	84	104

入居前の生活形態	医療機関	家庭	介護施設	協力医療機関	その他	合計
入居者数	22	40	14	9	19	104

「豊間保育園」園児三九名来荘

十二月六日(火)昨年に引き続き、豊間保育園の元気な園児三九名が来荘してとても可愛いお遊戯を披露して頂きました。また入居者全員心のこもった折り紙のプレゼントを頂きました。

入居者様はもちろんの事職員も目を細めて笑みを浮かべそれぞれ自分の幼少の日々または、子供・孫・ひ孫との楽しかった頃を、思い出していたのではないのでしょうか…。とても心が癒されるひと時でした。

保育園の先生方、園児の皆様、誠にありがとうございました。



「十二月誕生会」ユニット会

入居者様の誕生会は各ユニット別々に実施してありましたが、今回は十二月一日に午前に一階のユニット、午後二階のユニットと分かれ一斉に開催致しました。



「ハーモニカ演奏」キャプテン船水様

十二月八日(木)午前二〇時より、小名浜のキャプテン船水の方八名が来荘され、ナツメロを中心ハーモニカを演奏して頂きました。キャプテン船水の皆様、誠にありがとうございました。



「いわき寄席」出演者の色紙集から

先月号に引き続き、出演者の直筆の色紙を紹介致します。

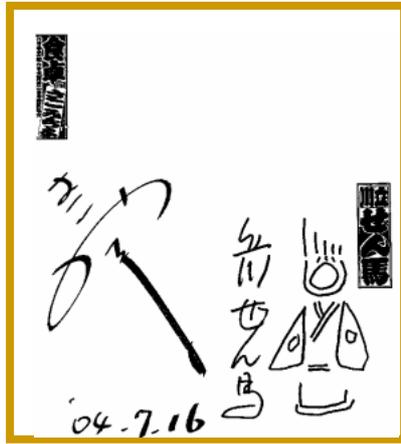
立川 ぜん馬師匠（今までに五回出演）と奥様で歌手のさこ みちよさん作品です。

第八七回いわき寄席 平成十六年七月一六日

尻餅・らくだ

さこ みちよさん特別出演

小唄・新曲（食卓）発表



立川 ぜん馬師匠
さこ みちよさん
(第 87 回いわき寄席 H16.7.16)
ぜん馬師匠の似顔絵
さこみちよさんのサイン

翌日の平成十六年七月一七日には望洋荘に、「ご夫婦でお越しください、ぜん馬師匠の司会で「さこ みちよ」オンステージを開催して頂きました。美空ひばりさんの曲などを中心に懐かしい曲を歌って頂き、入居者の皆様大喜びでした。また、新曲「食卓」は、現在の家族バラバラの食卓を悲しみ、昔の様に家族全員で食卓を囲み、楽しく食べた記憶を思い出して欲しいと願いが込められていました。

桂 才賀師匠（今までに四回出演）の作品です。

第四回いわき寄席 平成二年二月二〇日

親子酒・鹿政談

第三回いわき寄席 平成五年六月二八日

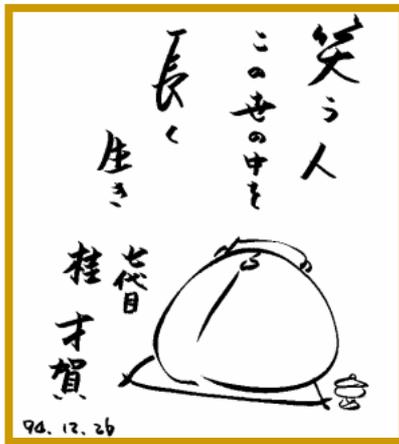
桃太郎・禁酒番屋

第三回いわき寄席 平成六年十二月二六日

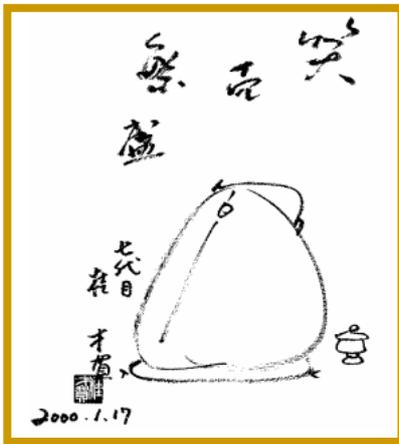
ザイル共和国ゴマの旅・芝浜

第六十回いわき寄席 平成十二年一月一七日

親売り・目黒の秋刀魚



桂 才賀師匠
(第 32 回いわき寄席 H6.12.26)
笑う人
この世の中を
長く生き



桂 才賀師匠
(第 60 回いわき寄席 H12.1.17)
笑売繁盛

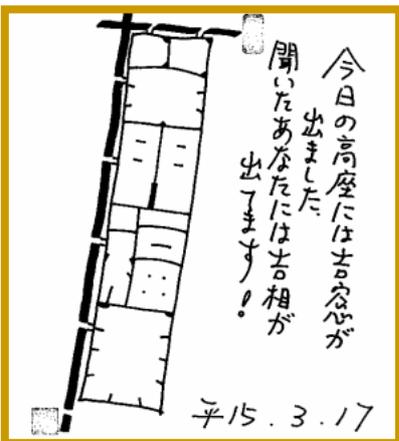
三遊亭 吉窓師匠の作品です。

第七九回いわき寄席 平成十五年三月一七日

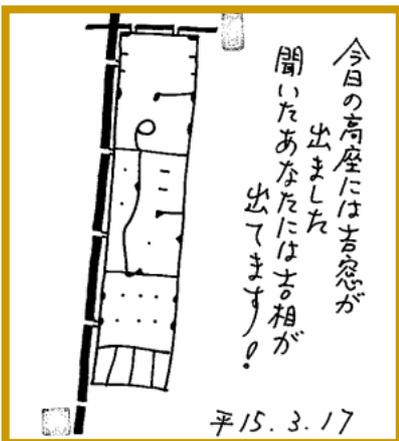
近日息子・ふぐなべ・なすかぼ・阿武松



三遊亭 吉窓師匠
(第 79 回いわき寄席 H15.3.17)
今日の高座には吉窓が出ました。
聞いたあなたには吉相が出てます！
のぼりに注目ください！
三遊亭 吉窓



三遊亭 吉窓師匠
(第 79 回いわき寄席 H15.3.17)
今日の高座には吉窓が出ました。
聞いたあなたには吉相が出てます！
のぼりに注目ください！
笑門福来



三遊亭 吉窓師匠
(第 79 回いわき寄席 H15.3.17)
今日の高座には吉窓が出ました。
聞いたあなたには吉相が出てます！
のぼりに注目ください！
寿限無

介護老人福祉施設 『望洋荘』
職員紹介 & コメント集



介護士 田村 奈津紀

入社して二ヶ月が経ちました。以前は老人介護保健施設で働いていましたが、まだわからない事がたくさんあります。今後は新たな気持ちで、毎日を入居者の皆様とふれあいながら一つ一つ学び、身に付けて行きたいと思います。

ユニットケアは、はじめてですが、いろんな事を勉強しながら、元氣いっぱい頑張りますのでよろしくお願い致します。



介護士 佐藤 正臣

今年で二八歳になりました佐藤正臣です。明るく楽しくがモットーです。また好きな事は、みんなスポーツしたり、お酒を飲んだりする事です。嫌いな事は、自分ひとりで居る時です。

こんな私ですが、入居者の皆様へ常に、明るく、楽しく、接して行きたいと思えます。

また、今後は幅広く、質の高い介護が出来る様に勉強して、自分自身スキルアップして行く事を目標に頑張つて行きます。皆様よろしくお願致します。

『望洋荘』に住んでみて 第十一話

望洋荘の各部門の内部の紹介も今回が最後になります。今回は、浴室の紹介をさせて頂きます。



正面玄関を入り直ぐ右曲がり奥のエレベーターの前を通つて突き当たりの階段を二階に上がると左側に塩屋岬広場があります。その奥に浴室があります。浴室は、自力で歩行出来ない方が入る機械浴室と歩行可能な方が入る一般浴室があります。一般浴室は、天然光温泉水で、お湯がとてやわらかく、身体の中から温まり、湯冷めしにくく、肌がうるうるになります。しかも神経痛、リウマチ、肩こり、冷え性、腰痛にも効果があります。一般浴室の壁二面が窓になっていて太平洋と空に囲まれ温まると心身共にリラックスできます。

入所者の皆様は、お風呂好きな方が多く、笑顔で雑談されている方や鼻歌を歌っている方がいて、とても賑やかです。一階のフロア、二階のフロアで普段あまり顔を合わせる事のない方で会話して気が合う事があるので、身体が清潔、リラックス+交流の場となっています。

入浴担当者は、入浴、着脱、整容、誘導担当の計四名を介護職全員が交代制で行なっております。一連の流れ

れとして脱衣後、入居者様は浴室へ移り、全身にかけ湯をした後、洗髪、入浴して頂いております。その際、爪の伸び加減や皮膚の手触りを行っており、健康管理に努めております。



今月の言葉その (倫理研究所編纂語集から)

働きは長寿の秘訣

何もせずボンヤリ過ごすのは、楽なようだが、ほんとはつらい。どんなことでもいい、人は人のために役立ってこそ生き甲斐がもてるし、張りのある生活も送れる。

編集後記

『望洋荘』便り

平成十七年十二月一日発行

発行所 いわき市

平豊間字合磯三十九番地

社会福祉法人 りんさく福祉会

介護老人福祉施設 望洋荘

電話 (0246) 55 7373

FAX (0246) 55 7255